

令和5年度第1回釜石市スポーツ推進審議会 開催結果

1.開催日時 令和5年11月7日(火) 18:30~20:10

2.会 場 中妻地区生活応援センター

3.出席委員 7名

小 泉 嘉 明 会長	三 浦 康 男 委員	小笠原 加代子 委員
寺 田 恵美子 委員	佐々木 ひづる 委員	佐 藤 千 依 委員
齋 藤 雅 彦 委員		

4.欠席委員 3名

下 村 恵 壽 委員	青 木 裕 信 委員	千 田 有 美 委員
------------	------------	------------

5.事務局 6名

臼 澤 渉 文化スポーツ部長	佐々木 利 光 スポーツ推進課長
山 崎 強 スポーツ推進課主幹	藤 原 豊 樹 スポーツ推進課長補佐
佐々木 智 輝 スポーツ推進課係長	植 田 真 治 スポーツ推進課主任

6.傍 聴 者 なし

7.経 過

(1) 開 会 <事務局>

佐々木課長より当会議の委員10名中7名の出席しており定足数を満たしていることを告げ、会議の開会を宣言した。

(2) あいさつ <文化スポーツ部長>

お忙しいところお集まりいただきまして有難うございました。

皆様には日頃からスポーツ行政の推進につきましてご協力いただきまして有難うございます。改めまして感謝申し上げます。

ここ数年のコロナの影響によりスポーツ事業についても大きく制限されました。去年の後半になって多少事業が再開したこともありますが、再開できなかった事業もございます。また今年になりましてコロナが5類に移行したことを受け、順次スポーツ事業が再開されて、今年度も大分事業実施できている状況です。今後ともコロナの感染予防を図りながら、スポーツ振興に係る事業を実施して行きたいと思っております。昨年度より策定したスポーツ推進計画ではスポーツ振興、そのスポーツによる人口増を目標として十年間取り組むこととしております。

今年9月に大きなイベントとして姉妹都市のフランス、ディーニュ・レ・バン市において、アマチュアラグビーの世界大会が開催され、日本を代表して岩手釜石ラグビーフットボールチームとして参加させていただきました。結果は16チーム中16位でしたが、もう一つの目標である東日本大震災の復興支援の感謝については、フランスははじめ世界のチームに伝えることが出来ました。

本日の議題ですが昨年度の事業結果及び今年の事業計画の報告と、今後のスポーツ施設の整備の協議を予定しております。特にスポーツ施設の整備において、市内には14の施設がありますが、老朽化が進んでいる施設もあります。財源の関係もあり今後どのように維持すべきか。また新設すべく施設も予定しており、今日皆さまに現状について資料をお示ししておりますので忌

憚のないご意見いただければと思いますのでよろしく申し上げます。

(3) 委員紹介 <事務局>

名簿順で出席委員を紹介。

(4) 議長選出 <事務局>

それでは、早速議事進行に入りたいと思いますが、議事の進行につきましては、審議会条例第5条の規定によりまして、会長が議長となりますので、会長であります小泉先生に一言ご挨拶を頂いた後に進行をお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

(5) 議長挨拶

皆さんお疲れ様です。コロナも少し収まっている状況で、既に7度目のワクチン接種をする状況となっています。インフルエンザにおいては現在東京で増加しており、岩手県も多分12月ころピークを向えるのでは想定されています。皆さん気を付けて生活を送ってください。

このような状況下にも関わらず、釜石の高齢者は元気です。普段の診療でよく耳にするのが、百歳体操を率先して取組んだり、スポーツを通じて自身の健康を維持すべく自己管理をおこなっており感心しております。これから日本全体として少子高齢化が進むうえで、高齢者にも元気で送ってもらうためにも、スポーツの力は大切と感じております。結果的に医療費の軽減や、慢性的な施設の課題の解決にもつながると考えられます。

さて、先ほど部長の挨拶にもあったとおり、フランスへの派遣事業がありましたが、復興支援への感謝の気持ちを伝えられたことは素晴らしいです。

本日は、昨年度の事業及び今年度の事業計画について報告を受けた後に、スポーツ施設の整備や維持管理について、委員の皆様から意見を頂戴することとしております。

それでは早速ですが、報告よりお願いします。

引き続き、議長の進行で議事に入る。

(6) 報 告 <事務局>

報告事項「令和4年度の事業報告及び令和5年度の事業計画」について資料に基づき説明し、質疑に入りました。

(7) 報告に関する質疑・意見

委 員：コロナ禍において、感染防止策を講じてスポーツ事業を実施できたことは評価できると思います。

委 員：ラグビーによる人材育成事業についてですが、先日鶴住居復興スタジアムを会場に令和5年度第70回岩手県中学校総合体育大会ラグビー競技大会が開催されました。大会運営にあたり、市及び協会より色々とサポートいただきスムーズな運営ができ感謝しております。中体連事務局からも好評を得たところでした。その中でコロナ禍以降参加校は減少していますが、おかげさまで釜石中学校が優勝することができました。また釜石甲子中学校も準優勝することができました。釜石の中学校が1位2位を取ることが出来た

とや常設の滝沢南中学校に勝てたことが大きい。やはりシーウェイブスアカデミーに加入している児童も居るが、この人材育成事業により児童が基礎を教えてもらったことが今大会の成果だと思います。今後も継続的に事業を展開していただければと思います。

事務局：今後も継続できるよう、市内各校の協力を得ながら、事業の取り組んでまいります。

(その他、質疑等無く承認されました。)

(8) 協 議 <事務局>

協議事項「スポーツ施設の整備について」を議題として提示し、説明の後に質疑に入りました。スポーツ施設の整備については、既存施設の維持や、新たに予定するスポーツ施設の新設における課題について資料に基づき説明しました。

(9) 協議に関する質疑・意見

委 員：中総体ソフトテニス大会地区大会において、市内にテニス場がないことから、通常釜石高校や釜石商工高校のコートを借用して地区大会を開催していますが、今年度はスケジュールが合わなかったことなどの理由によりまして、地区大会ではありますが、中体連及び新人戦は大船渡市や遠野市で開催した経緯があります。このように、移動バスを利用して他市で地区大会を開催している現状があります。学校の既存施設（テニス場）での大会が可能になればいいのですが、整備が整っていない状況にあります。予算が厳しいのは理解していますが、中体連としては早々にテニス場の整備を進めてい頂きたいです。

事務局：中総体でのソフトテニス地区大会は通常コートが何面あると大会は成立しますか。

委 員：学校数が減っているので、2面あればできますが、その際、練習（試合前のアップ）ができない事になります。遠野市や大船渡市は4面あって試合と練習で平行して使える状況です。

事務局：以前の審議会において、学校の既存テニスコートを再整備することも有りではないかのご意見がありましたが、例えば市内中学校の既存コートを再整備し地区大会を開催することも可能でしょうか？更には夜間は一般開放することも併せて可能でしょうか？

委 員：可能だと思われます。

委 員：中高で県大会の会場は通常であると県内で担当持ち回りがあると思いますが、何年周期で沿岸に持ち回りが来るのですか。

委 員：テニスの場合、現在の県大会レベルでは、盛岡市や北上市で開催するようになっており、8面から十数面のコートを有している会場での開催となっています。

委員：市内関係団体より新たなコート整備の要望を8面としているのは、県大会レベルの開催が可能な規模を想定しているのでしょうか。

事務局：そのとおりと思われます。

委員：現実的に施設整備や維持管理等の予算を考えるのであれば、多くのコート整備は厳しいかと思えますし、今後中体連においての県大会レベルの大会を沿岸では想定されていません。

事務局：委員の意見から4面整備であれば、中学の地区大会レベルの開催は可能との判断でよろしいでしょうか？

委員：はい。

議長：既存の施設の維持や、今後検討しなければならない新たな施設整備が課題となっている中で、全てのスポーツ競技施設を釜石で環境を整備することは、少子高齢化が進んできている釜石市の現状を踏まえ、進めるには無理があるのではないのでしょうか？一つの市で全て賄う時代ではないと思います。震災後、交通網が整備されたこともありますし、広域的な視野で、補助サポートなど施し、様々な工夫を凝らして環境を整えてもいいのではないのでしょうか。

委員：テニス人口が多いのであれば、環境を整えることも必要ですが、釜石市の規模に合わせたコート数で整備することがベストと考えます。

委員：市内児童が全国ソフトテニス大会などに出場するなど成果を出しています。未来あるこれからの子供達の環境においてサポートしてもらえるといいのではと思います。

委員：前回の審議会で示された概算工事費と見比べると高騰していると理解できます。テニスコートに関しては、委員が述べた通り中学生の大会開催可能な環境とか近々に必要と思えますし、一般の方に関しては、近隣市町村のコートを利用することもその通りです。4面コート整備が厳しい財政状況があるのであれば、2面整備し、余った用地に練習用として壁打ち施設を整える等の練習環境を整えることも有りかと思えます。

議長：医療も同じ状況に置かれています。命に関わることですが、全国各地に医療環境を整備できるほどの日本の国力(予算)は弱っています。医師不足や環境整備をしたいにも、関係機器の高騰などの影響により環境整備が滞っている現状があり、医療環境においても過渡期となっております。今回のスポーツ施設整備と重なるものがあります。

釜石市では、高齢化が40%を超えており、首都圏東京においても今後高齢化が上昇し、将来的に日本の人口は8,000万人と推移されています。

将来像を踏まえ、整備するにも、表面だけではなく中身現状を知る知らせることが大事と思われる。

委員：陸上競技場もあるに越したことはありませんが、隣町まで移動 30 分程度あれば練習なども可能です。それに係る移動費として補助するなどの何らかの工夫があればいいと思います。ただ、学校には陸上を練習できるレーンの整備とかは必要と思います。

委員：これから新規でスポーツ施設を整備するには、関係団体等は勿論、様々な角度から意見を貰い、皆で理解したうえで釜石に合ったものを作り上げていくことがこれからの時代と思います。

委員：陸上トラック整備の概算見積は公認施設を想定していますか。

事務局：あくまでも練習に特化した内容で、公認は取得しない概算額となっております。

委員：陸上競技においては、競技場の有無に関わらず、中学校陸上大会や、地区大会後の上位大会も無くなっております。現在は通信陸上のみの状況となっております。

3 年前までは中学陸上の大会があり、その際は宮古市に行って宮古市の中学校と合同で練習や大会を行っておりましたが現在は大会も無くなっております。小学校は、遠野市の陸上競技場の土トラックで大会を実施しています。このような背景を踏まえ、練習を中心として利用することを想定した場合、公認まで必要は無いかと考えます。

委員：新たなスポーツ施設の整備において、既に関係する協会等との話し合いはなされていますか。

事務局：新規スポーツ施設整備においては実施計画に挙げていますが、様々な課題により計画が先延ばしされる状況が続いておりますので、整備確約が取れていない中で、具体的な協議は行っておりません。ある程度、市の整備方針を定めたいうえで具体的な協議は行いたいと考えております。

委員：まずは、既存施設の修繕を計画的に行い、スポーツ環境の維持に努めてほしいです。

議長：いま社会は少子高齢化等の様々な課題により生活環境が大きく変化してきています。釜石市も 10 年、20 年後にはどのように変化していくのか。未来をイメージしながら整備において取り組んでもらえればと思います。

事務局：本日委員の皆様から出された意見を反映させた中で、市の置かれている環境を勘案したうえで、施設の整備は大きな課題ではありますが、一定の方針案を定め、年度内にもう一度スポーツ推進審議会を開催させていただき、再度委員皆様よりご意見を頂戴したいと存じます。

議長：ありがとうございます。事務局の説明通り、委員皆様の意見を参考に市の方針案を再度皆さんで検討することとしまして、本日の協議を終えたいと思います。それでは、以上となります。本日の議題は全て終了しましたので、進行は事務局お返し

します。

事務局：委員皆様よりご審議いただきまして、ありがとうございます。

以上をもちまして令和5年度第1回釜石市スポーツ推進審議会を閉会させていただきます。本日はどうもありがとうございました。

(10) 閉会 20:10 事務局より閉会を宣言。